

2018年11月20日(火)

[概要]

カナディアン・アカデミー (CA) との交流事業3 CAの生徒が本校の授業を受けました。

9月に実施したCA授業見学を受けて、今度はCAの生徒12名が本校の授業を受けに来ました。日本の実際の授業を受けることで、お互いの学校生活や授業の方法の違いを体験し、それぞれの学びに活かすことを目的としています。前回CAを訪問した生徒と顔見知りの生徒もいて交流が深まっている感じがしました。

テーマ： 神戸大学附属中等教育学校 SGH「国際都市神戸と世界の文化」 カナディアン・アカデミーとの交流事業

内容：(1)1時間目に、本校のホスト役の生徒とCAのゲストの生徒が1グループになり、自己紹介や今回受ける授業の内容の説明をしました。
(2)本校3、4年生の2～4時間目の授業を、ホスト役の本校生と一緒に受けました。
(3)ランチを一緒に食べて、交流を深めました。

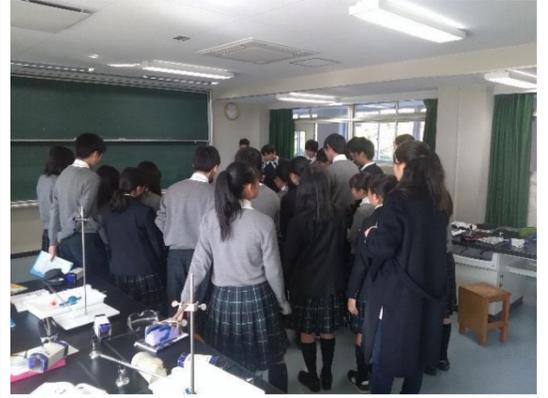
活動の様子



1時間目 最初のグループ打合せ



2時間目 4年英語の授業



2時間目 4年化学基礎の授業



4時間目 3年国語の授業



4時間目 3年理科の授業



ランチタイムの交流

参加生徒の感想

4年男子
今回のカナディアンの生徒との交流は自分にとって、よい経験をたくさん得ることができたと感じました。そして、ふだんよく使っている言語が違っていても、お互いにコミュニケーションをとることがすごく大切であり、また、それはすごく楽しいものでもあったと感じました。この交流会をする前は、自分の英語がちゃんと伝わるのか、カナディアンの生徒に対してなるべく完璧にもてなすことができるのかと心配でしたが、実際に会って交流するとすごく楽しく半日を過ごすことができたのでよかったです。

4年女子
初めてカナディアンアカデミーの方々との交流に関らせていただき、本当に貴重な体験をできたと感じました。交流させていただいた生徒との会話の中で、普通の日本の学校との違いを感じるがありました。また、ある生徒は急にカナディアンアカデミーに中学校で入ることになり、そこから英語を本格的に始めたということで、その人の人生の1つの転換点となったのだと感じました。
同じ地域に住みながら、まだまだ知らないことがたくさんあることが分かったので、もっと世界の人々、自分とは違った生き方、生活をしている人とコミュニケーションをとり、もっと学んでいきたいと改めて思いました。

3年女子
今回の交流は自分の学校をCAの生徒さんに紹介する番だったので、うまく説明できるか心配でした。しかし、バディの生徒さんは前回、CAを案内してくれた人とは違う人でしたが、昼食の時などはお互いの話などで、楽しく話すことができてよかったです。学校案内の際も、神大附属について興味を持つことができたようで、安心しました。ほかの学校の生徒さんと交流する機会は、なかなか無いので、貴重な経験になったと思います。